

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第1号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和5年度（2023年度）発生予察特殊報第1号
令和5年（2023年）4月26日
熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 サツマイモ乾腐病
- 2 学 名 *Diaporthe batatas* Harter
(ana. *Phomopsis batatas* (Ellis & Halst) Harter & E. C. Field)
- 3 発生作物 カンショ（ヒルガオ科）
- 4 発生確認の経過
令和4年（2022年）10月、県内のカンショ栽培ほ場で、立枯症状が確認された。茎は黒色に変色し、変色部表層に微小な黒点粒状の分生子殻の形成が認められた。分生子殻から漏出した分生子を分離し、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センターに同定依頼した結果、本病であることが判明した（図1～4）。なお、同じ試料から基腐病菌は検出されなかった。
- 5 国内の発生状況
本病害は、国内で広く知られており、通常は貯蔵中の塊根で発生する。栽培ほ場での発生は、鹿児島県と宮崎県で確認されている。
- 6 病徴
サツマイモ基腐病と近縁の糸状菌であり、病徴も類似している。病徴による両者の識別は困難である。宿主植物はヒルガオ科のみであり、茎葉の症状は茎が黒色～暗褐色に変色し腐敗する。その後、茎の被害部が拡大し、やがて地上部の茎葉が萎凋、枯死する。
- 7 防除対策
 - （1）発病した株（つるや塊根）は速やかに抜取り、り病残さをほ場内や周辺に残さないよう処分する。
 - （2）収穫後は、ほ場からカンショの残さを速やかに除去し、耕耘などを行ってほ場内に残った残さの分解を促進する。
 - （3）本病が発生したほ場で使った資材や機材を別ほ場で使う際は消毒や洗浄を十分に行う。
 - （4）本病が発生したほ場からは種芋や苗を取らない。
 - （5）種芋や苗には腐敗や病害、傷のない健全なものを使用する。

(6) 苗床の土壌消毒を行う。

(7) 植付前には、ほ場の排水対策や土壌消毒を十分に行う。



図1 ほ場での発生の様子



図2 被害茎に形成された分生子殻



図3 *D. batatas* の分生子



図4 PDA培地上に形成された菌叢

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所

(農業研究センター 生産環境研究所内)

担当：福岡、岡島 TEL：096-248-6490